

平成28年10月14日
九州地方整備局

九州地方整備局の防災訓練を関係機関と連携して実施！！

～南海トラフ巨大地震を想定した地震・津波防災訓練を実施します～

(取材依頼)

九州地方整備局では、南海トラフ巨大地震対策「九州ブロック地域対策計画」に基づいた訓練として、被害の大きい九州東側地域へ九州西側地域より、TEC-FORCE、災害対策車両等を派遣する広域実動派遣訓練を防災関係機関（陸上自衛隊、警察、消防、宮崎県、宮崎市、都城市等）と連携して行います。

報道各機関の皆様には、災害対策本部（本局：福岡市）、道の駅「都城」（宮崎県）、宮崎市木崎地先（県総合運動公園）の各訓練会場での取材をお願いします。

【訓練のポイント】

- ◆ **広域派遣訓練**（道の駅都城等） 九州西側の各事務所からTEC-FORCEや災害対策車両等が進出拠点（道の駅「都城」等）に集結。その後、災害対策本部や関係機関と情報共有を行い、九州東側の被災地に向けて進出。
- ◆ **道路啓開訓練**（宮崎市木崎地先 県総合運動公園） 九州地方整備局、陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎県警察本部、宮崎市消防局など関係機関が集結。情報共有を図った後、連携を確認しながら緊急輸送ルート確保を目的とした走行不能車両撤去や要救助者救出等を実施。
- ◆ **本部運営訓練**（本局：福岡市） 現地に派遣した防災ヘリ、航路啓開船等の現地撮影映像を本部へ配信。現地TEC-FORCE各隊長、宮崎県庁等とのTV会議による被災状況、道路通行可能情報、活動方針等の情報共有を実施。

1. 訓練日時 平成28年11月2日（水） 7時00分～15時00分（予定）
2. 参加機関 九州地方整備局（本局、管内事務所）、陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎県、宮崎県警察本部、宮崎市、宮崎市消防局、都城市、九州防災連絡会（想定参加人員 約200名、参加車両 約50台）
3. 訓練内容 別紙のとおり

九州地方整備局 電話092-471-6331(代表)

【問い合わせ先】

企画部 緊急災害対策調整官 加トシ 永利 信太郎
電話 092-476-3544 (防災課直通)

南海トラフ巨大地震を想定した地震・津波防災訓練（11月2日）

～九州地方整備局の実働訓練を関係機関との連携で実施します～

九州地方整備局では、南海トラフ巨大地震対策「九州ブロック地域対策計画」を平成26年4月に策定。

この計画に基づいた実働訓練として、被害の大きい九州東側地域へ西側の各事務所よりTEC-FORCE（テック・フォース）・災害対策車両等を派遣する広域実働派遣訓練、緊急輸送ルート確保を目的とした道路啓開訓練、九州地方整備局災害対策本部運営訓練等を防災関係機関（陸上自衛隊、宮崎県、宮崎市、都城市等）と連携して実施します。

1. 訓練日時 : 平成28年11月2日（水）7時00分～15時00分
（7時00分 地震発生）

2. 参加機関 : 九州地方整備局（本局、管内事務所）、陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎県、宮崎県警察本部、宮崎市、宮崎市消防局、都城市、九州防災連絡会
（想定参加人員 約200名、参加車両 約50台）

3. 訓練内容

○広域実働派遣訓練

西九州の各事務所より出動したTEC-FORCEや災害対策車両等が、進出拠点となっている各道の駅（都城[※]、おおの、ゆふいん）に集結した後、災害対策本部からの情報提供、指示を受けて九州東側の被災地へ向けて進出する訓練を行います。

※道の駅「都城」については撮影可能です。 （10時30分～11時30分頃）

○道路啓開等訓練

九州地方整備局（TEC-FORCE）、陸上自衛隊第43普通科連隊、宮崎県警察本部、宮崎市消防局などの関係機関と連携して、道路上[※]の走行不能車両撤去や要救助者救出訓練を実施。道路啓開完了後に、排水ポンプ車などの関係車両が当該箇所を通過し、湛水想定箇所での緊急排水訓練を実施します。

※宮崎市木崎の宮崎県総合運動公園駐車場入り口付近で行います。撮影可能です。

（11時10分～12時00分頃）

○災害対策本部運営訓練（情報共有訓練）

防災ヘリや訓練各所からの映像を基に、本局災害対策本部[※]（局長等）において道路、河川、港湾などの被災状況の全体像を把握し、その後の活動方針について現地TEC-FORCE隊と情報共有する訓練を実施します。

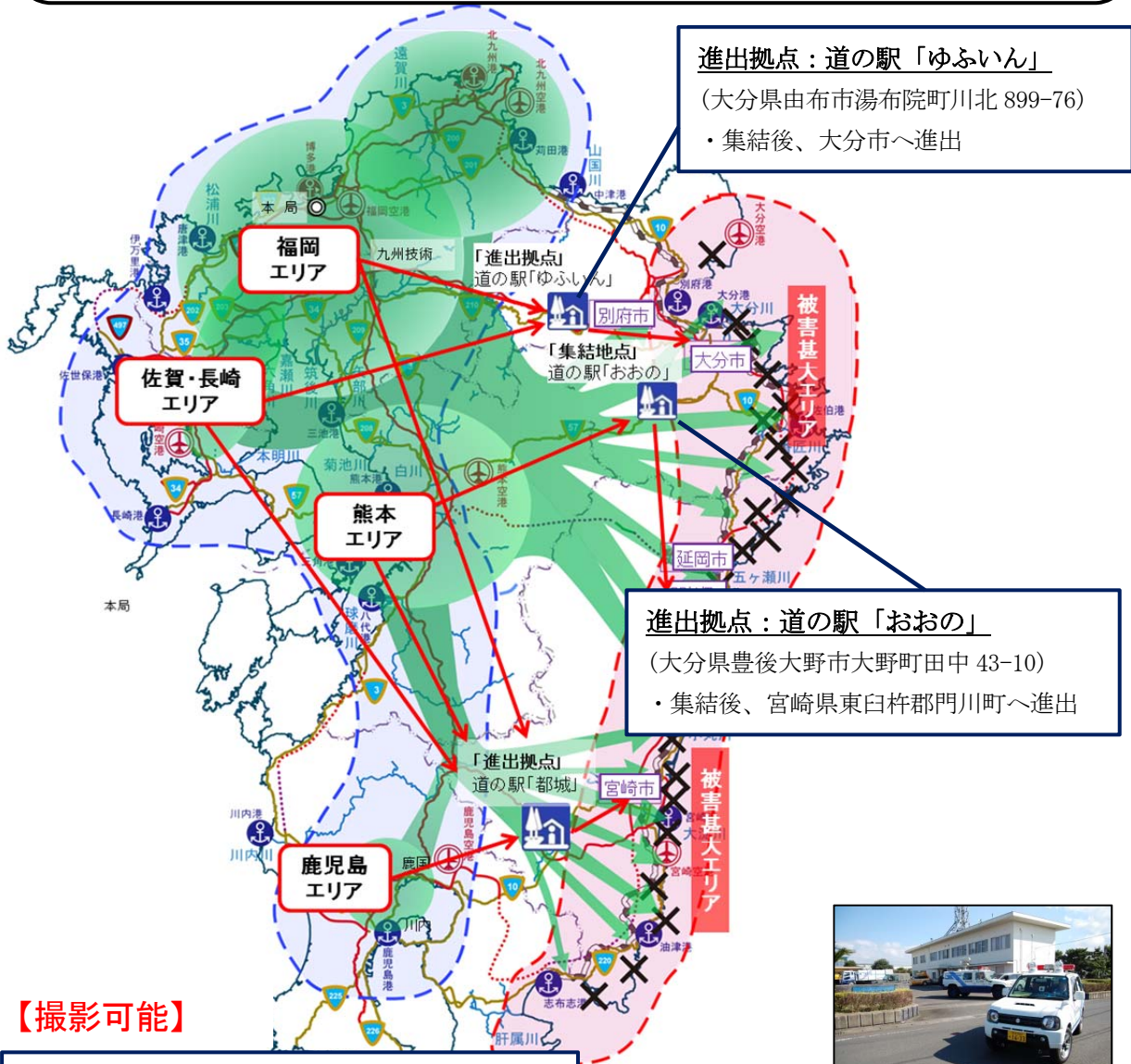
また、九州防災連絡会の構成機関と連携して、現地対策本部との情報共有訓練を実施します。

※九州地方整備局 8F 防災室で行います。撮影可能です。（10時20分～12時00分頃）

1) 広域実働派遣訓練

西九州の各事務所から出動した TEC-FORCE 及び災害対策用車両等は、進出拠点である道の駅（都城、おおの、ゆふいん）に集結した後、災害対策本部からの情報提供、指示を受けて被災地へ進出。

○訓練参加者 約 200 人、対策車両 約 50 台



進出拠点：道の駅「ゆふいん」

(大分県由布市湯布院町川北 899-76)

・集結後、大分市へ進出

進出拠点：道の駅「おおの」

(大分県豊後大野市大野町田中 43-10)

・集結後、宮崎県東臼杵郡門川町へ進出

【撮影可能】

進出拠点：道の駅「都城」

(宮崎県都城市都北 5225-1)

10:30～11:30 頃

- ・ TEC-FORCE
- ・ 災害用対策車
- ・ 陸上自衛隊
- ・ 宮崎県警
- ・ 都城市役所

関係機関との情報共有後、宮崎市に向け進出



【道の駅出発イメージ】



【道の駅整列イメージ】

2) 道路啓開等訓練

1. 訓練想定・内容

宮崎県より、津波浸水エリア内の道路上で走行不能となっている車両撤去及び要救助者救出の要請を受け、広域支援で派遣された九州地方整備局（TEC-FORCE）と関係機関が連携して道路啓開作業を実施。

道路啓開完了後に、排水ポンプ車などの関係車両が当該箇所を通過し、湛水想定箇所での緊急排水訓練を実施。

2. 訓練時間・場所

➢ 11時10分～12時00分頃

道路啓開訓練、緊急排水訓練（メイン会場）

（場所：宮崎市木崎 宮崎県総合運動公園駐車場入り口付近）

- ・情報共有会議（九州地方整備局、陸上自衛隊、宮崎県警、宮崎市、宮崎市消防）
- ・道路通行止め看板設置、迂回路案内開始（九州地方整備局）
- ・不明者搜索、要救助者救出、病院への搬送（宮崎県警、宮崎市消防）
- ・走行不能車両、がれきの撤去（九州地方整備局、陸上自衛隊）
- ・啓開した道路を先導車、排水ポンプ車が通過（九州地方整備局）
- ・公園内駐車場で緊急排水のための排水ポンプ車設置（九州地方整備局）



※撮影可能



【道路啓開出発イメージ】



【道路啓開訓練イメージ】



【緊急排水訓練イメージ】

3) 災害対策本部運営訓練（情報共有訓練）

1. 訓練想定・内容

防災ヘリや訓練各所からの映像を基に、本局災害対策本部（局長等）において道路や河川などの被災状況の全体像を把握し、その後の活動方針について現地 TEC-FORCE と情報共有する訓練を実施。

また、九州防災連絡会の構成機関と連携して、現地対策本部との情報共有訓練を実施。

2. 訓練時間・場所

➤ 10時20分～12時00分頃

（場所：九州地方整備局 8F 防災室）

- ・本局災害対策本部（局長等）と防災ヘリ、宮崎県、集結拠点（道の駅3箇所）等とのTV会議
- ・道路啓開調査で得られた情報から“通れるマップ”を作成
- ・各 TEC-FORCE 隊の活動状況等を DiMAPS（ディーマップス）で表示
- ・道路、河川、港湾などの被災状況を把握し、現地 TEC-FORCE と情報共有、指示
- ・現地対策本部との情報共有



※撮影可能

【災害対策本部運営訓練イメージ】

【参考】

11月5日は、津波防災の日・世界津波の日です。

[参 考]

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）とは

TEC-FORCEとは、大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的とした派遣隊です。

◆ TEC-FORCEの活動状況



災害協定協力会社・自衛隊等の協力を得て
道路啓開作業を実施
(平成 23 年 3 月 東日本大震災時)



災害対策用機械の派遣と映像配信機器設置
(平成 28 年 4 月 熊本地震)

◆ 訓練に使用する災害対策用機械



情報収集車



衛星通信車



排水ポンプ車



対策本部車



照明車